

## 船町渡船場(ふなまちとせんじょう)

～住宅地と工業地を結ぶ渡船～

### 概要

船町渡船は、大正区鶴町1丁目と同区船町1丁目を結んでいます。(岸壁間75m)。「木津川運河(きづがわうんが)」は対岸との距離が短いため、渡船の運航方法は他の渡船と違い、円を描いて戻ってくる航路をとっています。大阪港の第1次修築工事(明治30年～昭和3年)による埋立地として「船町(ふなまち)」「鶴町(つるまち)」「福町(ふくまち)」が造成されたのと合わせて、木津川と尻無川を連絡するため昭和4年に開設されました。

昭和初期には、渡船の北岸の「鶴町」には、市電鶴町車庫や外資系の自動車工場等があり、南岸の「船町」には伊丹空港の前身である木津川飛行場や造船所等がありました。



『大正区ホームページ』から転載

